

TGM

日本でも需要増加

チオコールなどトップシエア

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長 03・6261・1260)

は、イタリア・フェンジー社の各種副資材を販売している。主力商品は複層ガラス用「Thioverシリーズ(ポリサルファイド系2次シール材「チオコール)」で、ウオームエッジスペーサー「Butylive r Thermoplastic Spacer (TPS)」も取り扱う。鏡用裏留め塗料、ガラス装飾用塗料なども幅広く扱っており、「Thiover」シリーズ、鏡用裏留め塗料、ガラス装飾用塗料は世界トップシエアを誇る。フェンジー社は世界80カ国に販売しており、1941年の創業以来、異字経営を維持。ここ数年、日本でも安定した品質と競争力がある価格によって急速に需要が増えている。

「Thiover」シリーズは、フェンジー社の最も革新的な製品。優れた断熱性能を發揮し、

重金属などの有害成分を含まない。水蒸気、ガスに対する透過率が非常に低く、紫外線耐性に優

る。建築用ガラスは過酷な気候環境にさらされるため、こうした特性がシール材の性能と設置後の建築用ガラス全体の耐久性を左右する。複層ガラス用2次シール材は世界トップシエアを誇る。

「Thiover」シリーズは、高い品質と工業的手法、高品質な製品だけが受けることができ

るCEKAL認証を取得。CEKAL認証は製品の性能、原材料の品質の両方に適用される。シール材の紫外線放射、湿度耐性、耐久性などが検査され、サプライチェーン全体、トレーサビリティも確認される。最高の製品だけがこれらの検査に合格し、市場に供給される。フロート板ガラス、L



フェンジー社の「Thiover」シリーズ、鏡用裏留め塗料、ガラス装飾用塗料は世界トップシエア

ow-Edgeガラス、スペーサー、シール材など断熱ガラスを構成する要素は絶えず進化しており、断熱ガラスの進化にはシール材が大きく関係している。フェンジー社は、シ

ール材に関連するさまざまな課題に取り組んでおり、常に市場のニーズの一步先を読み、革新的な次世代製品を開発している。フェンジー社のシール材は優れた耐久性を備えており、複層ガラス製造に不可欠な要素となっている。長期的に保証され、高度な環境適合基準を満たす。

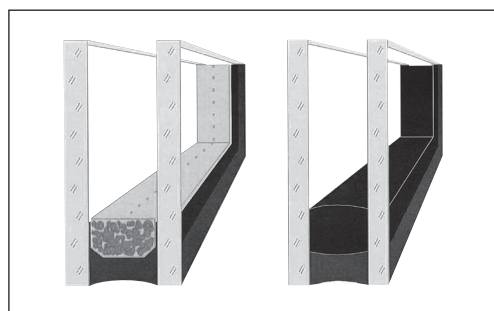
断熱性能に優れた樹脂スペーサー

「TPS」は、乾燥剤と1次シール材が一体となったウオームエッジスペーサー。断熱性能に優れ、アルミスペーサーと比べて熱貫流率が0.1倍、毎平方メートルの開口部の断熱化が進み、ガラスにも高断熱化が求められていることから、「TPS」の需要が高まっている。アルミスぺーサーと比べてコンパクトに納まるため、保管場所の省スペース

化、運送費の低減につながる。

ガラスが大きくなるほどシール材とガラスにかかる引っ張り力、シール材とスペーサーにかかる剪断(せん断)応力、剥離力などの負荷が増す。「TPS」は剪断応力、剥離力がかからないので、シール材とスペーサーへの負荷がなくなる。施工時の含水量が少なく、吸水量が増える速度が緩やか。乾燥剤の外層を高速で接着できる。気密性、密着性に優れ、有害物質を含まないので環境に優しい。機械で自動塗布が可能で、さまざまなサイズのスペーサーや乾燥剤の在庫、スペーサーを切る・曲げるといった加工、ブチル押し出し機などが不要。大きなサイズのガラスにも対応しやすい。

ガラスアライアンスグループは、複層ガラス用の材料について幅広いニーズに 대응するため、それ



従来の複層ガラス(左)と「TPS」を使用した複層ガラス

ぞれの分野で世界トップクラスの実績、品質と信頼性を持つ老舗企業3社(イタリア・フェンジー社、イタリア・アルプ社、デンマーク・ロ

ールテック社)が協業体制を構築した。複層ガラス用シール材、ガラス用塗料、複層ガラス用各種ウオームエッジスペーサーなどを製造している。2016年には建築・自動車ガラス用インクジェット印刷機を開発・製造するスペイン・テックグラス社が加入した。フェンジー社が保有する装飾用インキの技術を生かして顧客の支持を拡大、躍進を続けている。

フェンジー社は「世界のガラス産業のパートナー」をモットーとする。同社の主力商品は、「Thiover」シリーズで、「TPS」も取り扱っている。「Sealver」(シリコン系2次シール材)、「Butyliver」(ブチル1次シール材)、「Mowver」(スペーサー用乾燥剤)の他、鏡用裏留め塗料、ガラス装飾用塗料、太陽光パネル用塗料など、幅広い品目を開発・製造している。